

株主の 皆様へ

第**62**期

第2四半期株主通信

2022年4月1日～2022年9月30日

TAKAMAZ
高松機械工業株式会社

証券コード：6155

P1

社長
インタビュー



P5

CNC2スピンドル
2スライド精密旋盤 **XWG-3**

カーボンニュートラルに貢献し、
新たな生産スタイルをご提案



P7

製品のご紹介

人手不足や人件費高騰に対応するための自動化ニーズ、
カーボンニュートラル等の環境配慮へのニーズにお応えすることで
需要を取り込み、更なる受注拡大にまい進していきます。

代表取締役社長 高松宗一郎

Q 当第2四半期実績について、 お聞かせください。

当社グループの主力分野である工作機械業界では、ウクライナ問題、物価の高騰、部品供給のひっ迫、急激な円安の進行など様々なリスクがあるものの、国内、海外ともに活発な設備投資の動きが見られ、前年同期比では4半期連続増加となるなど、需要の回復基調が継続しました。

このような状況の中、受注獲得をはかって国内や海外の様々な展示会に出展したほか、あさひ工場や海外各子会社でプライベートショーを実施し、投資意欲の高いお客様に対してニーズの高まっている自動化システムのソリューション営業を進めてきました。更に、変化する市場への対応と開拓のため、主力受注先である自動車関係以外の市場や加工分野に対しても積極的な営業活動を行ってきたことで、受注高が70億円(前年同期比7.6%増)、受注残高が75億4百万円(同27.7%増)となりました。

受注が堅調に推移した一方で、収束が見えない部品調達難や原材料高騰の影響、あさひ工場の操業開始による減価償却費や諸経費の増加によって、売上高は74億74百万円(同6.7%減)、営業利益は1億39百万円(同74.1%減)、経常利益は2億27百万円(同60.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億44百万円(同63.2%減)となりました。

Q あさひ工場が操業しましたが、 現在の状況をお聞かせください。

あさひ工場と本社工場間には約2キロの距離がありますが、2拠点の様子を互いにリアルタイムで把握できるコミュニケーションモニターの設置や各拠点の無線LAN化、生産体制の見直し等により、距離のハンディキャップを解消し、現在順調に稼働しています。

6月にはあさひ工場の完成を記念したプライベートショーを開催しました。全国のお客様やディーラ様をご招待し、最新の製品のご紹介やお客様の生産性向上のご提案に努めた結果、近年実施したプライベートショーの中では最も多額の受注をいただくことができました。更に、8月には社員の家族を招待するファミリーデーを、9月には株主様向け工場見学会をあさひ工場にて実施し、それぞれ大変ご好評をいただきました。

また、“人にも環境にも優しい”を目指しつくり上げたあさひ工場では、サステナビリティを実現する、より良い工場とするため、今後も様々な取り組みを計画しています。その中の一つとして、太陽光発電設備の設置があります。太陽光発電設備はまず先に本社工場で導入し、来年度より運用を開始する予定です。今後、あさひ工場にも設置することで、更なる脱炭素への貢献を実現します。

今後もあさひ工場を活用し、サステナビリティ活動の推進や、増産体制の確立を行うことで、より一層の飛躍を目指していきます。



先行きの見通しと今後の取り組みについて、 お聞かせください。

当社グループを取り巻く経済環境には様々なリスクがあり、先行きの見通しは不透明です。その一方で工作機械業界では、人手不足や人件費の高騰に対応するための自動化ニーズ、カーボンニュートラルなど環境問題への対応などから、今後も工作機械が必要とされる状況が続くと見込まれています。

新型コロナウイルスの影響から4年ぶりにリアルでの開催となったIMTS2022(アメリカ)やJIMTOF2022(東京)では、出展

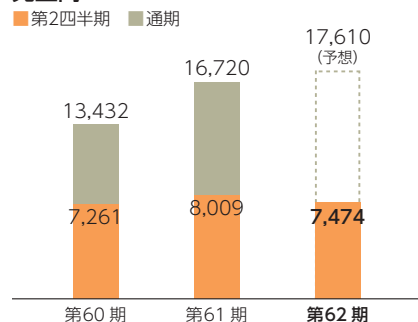
者の意欲も高い中、多くの来場者でにぎわいを見せ、工作機械需要の潜在的高さを感じられました。この需要を獲得していくためにお客様のニーズに応えていくとともに、部品調達難等の課題がある中でも効率的・安定的な生産に取り組んでいきます。

またサステナビリティやSDGsなどの社会的課題の解決に対しても、事業活動を通じて積極的に取り組んでいきます。

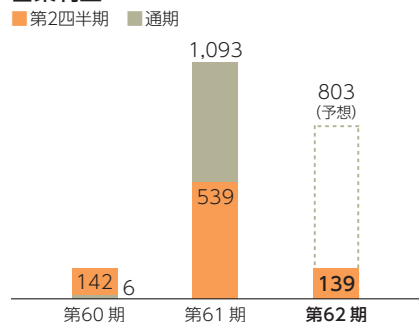
当社グループは、足元の課題解決に加え、将来的な企業価値向上をはかっていくために、今なすべきことに全社一丸となって取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬご支援とご指導を心よりお願い申し上げます。

連結業績ハイライト

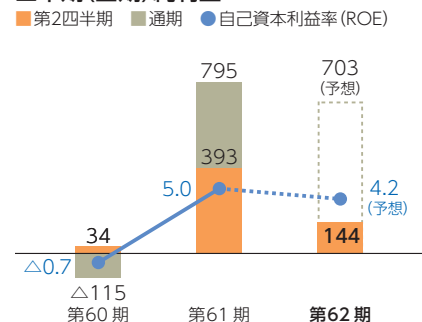
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益



セグメント別概況

第62期第2四半期 売上高構成比

工作機械事業 89.5%

IT関連製造装置事業

8.6%

1.9%

自動車部品加工事業

工作機械事業

売上高 6,690百万円
(前年同期比 5.8%減)

営業利益 120百万円
(前年同期比 75.5%減)

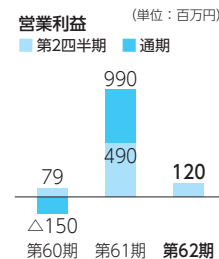
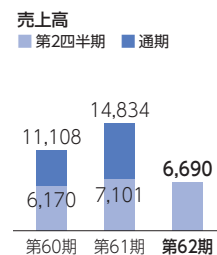


受注高が前年同期比7.6%増加の70億円と堅調に推移した一方で、部品調達難や原材料高騰の影響等により、売上高、営業利益はともに減少しました。

地域別の売上高は、北米向けが大幅に増加した一方で、国内向け、アジア向けおよびヨーロッパ向けが減少した結果、内需が40億3百万円(前年同期比13.1%減)、外需が26億87百万円(同7.6%増)、外需比率が40.2%(前年同期は35.2%)となりました。

主な取り組みとして、営業面では、国内外の展示会への出展やインドネシアの海外子会社でのプライベートショー実施のほか、人件費削減や人手不足の観点からニーズの高まっている自動化システムのソリューション営業を進めました。

生産面では、部品不足や材料費高騰の影響が継続したため、先行発注や代替品の調達による安定生産や原価低減活動に努めてきました。



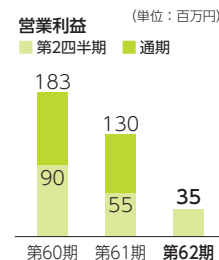
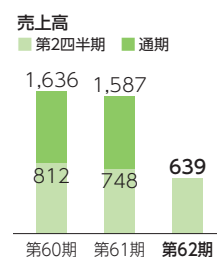
IT関連製造装置事業

売上高 639百万円
(前年同期比 14.5%減)

営業利益 35百万円
(前年同期比 36.5%減)

積極的な営業活動の成果により、新規案件を獲得したものの、部品の調達難が継続し、特に一部製品では生産への影響を受けたため、売上高が減少しました。

利益面では、売上高の減少に加え、材料費高騰が影響し、減少しました。

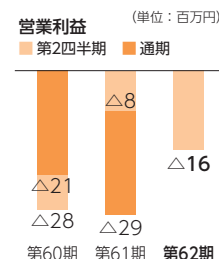
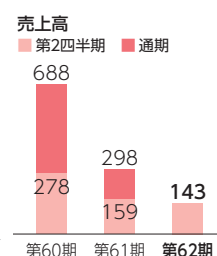


自動車部品加工事業

売上高 143百万円
(前年同期比 10.1%減)

営業利益 △16百万円
(前年同期は △8百万円)

取引先である自動車メーカー等で、在庫調整や部品不足等による生産調整があったため、売上高、利益面ともに減少しました。



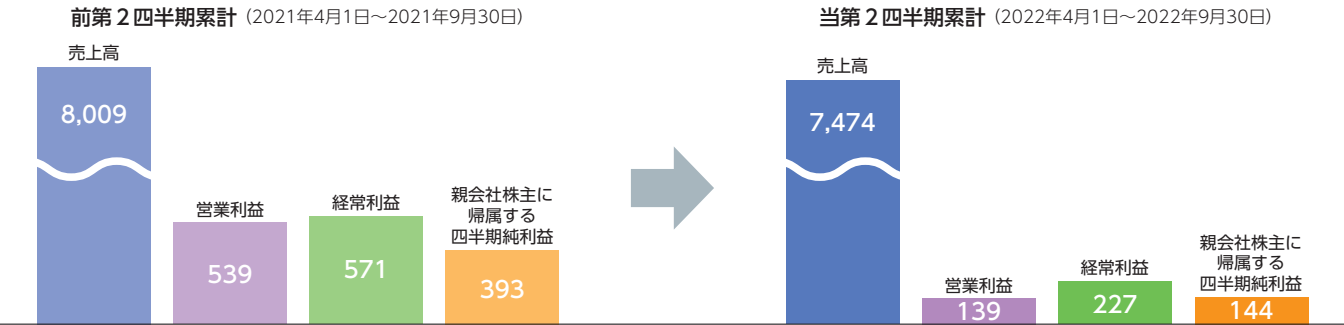
(注)第61期より、「収益認識会計基準」等の適用により、売上高が減少していますが、利益に対する影響はありません。

第2四半期連結財務諸表

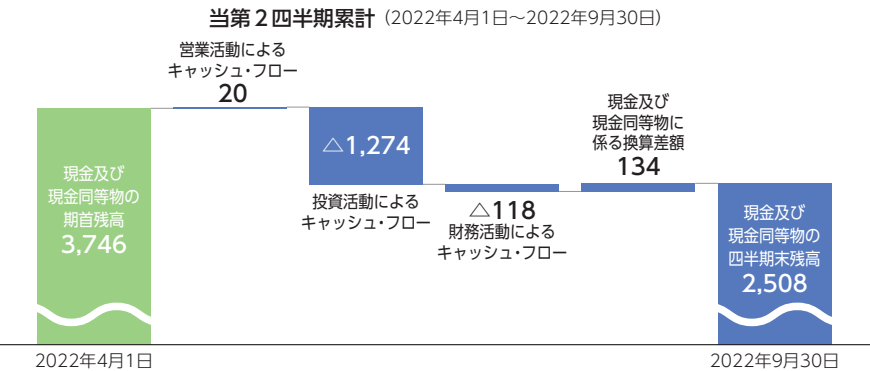
四半期連結貸借対照表の概要 (単位: 百万円)



四半期連結損益計算書の概要 (単位: 百万円)



四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位: 百万円)



財務情報のご案内

詳細な財務情報は、当社IRサイトより
ご覧いただけます。



IR・投資家
向け情報
Click!



<https://www.takamaz.co.jp/ir/>

当社が行っているサステナビリティに関する取り組みやその成果について、最新のトピックスをご紹介します。

サステナビリティとは？

環境・社会・経済の観点から、世界を持続可能とするための活動の総称

従業員一人ひとりが行う社会貢献活動の支援



「厚生労働大臣表彰」受賞

7月、第58回献血運動推進全国大会において、「厚生労働大臣表彰」を受賞しました。この表彰は、献血活動への協力に対し、他の模範と認められた企業・団体に贈られるものです。

当社では毎年2回、本社工場にお呼びした献血車において社員が献血を行っています。35年以上もの間、継続して活動を行い、献血の実績を残してきたことが受賞に繋がりました。これからも、社員が参加できる身近な社会貢献として、献血に積極的に協力していきます。



社会に貢献できる優れた製品の開発、サービスの実現



「審査委員会特別賞」受賞

当社の倒立形CNC旋盤「XV-3」が、第52回機械工業デザイン賞IDEAにて「審査委員会特別賞」を受賞しました。

本賞は日刊工業新聞社が工業製品のデザインの振興・発展を目的に創設したもので、受賞した多くの製品は、先進的製品として高く評価されてきました。

受賞した「XV-3」は、複合加工が可能で機械3台分の機能を有しながら、コンパクトなサイズであるのが特徴で、次世代の生産形態として工程集約を求める動きが加速する自動車部品加工や産業機器の業界からお問い合わせをいただいております。

今後も、更なる技術の向上に努め、より良い製品の開発に励んでいきます。



写真提供：株式会社日刊工業新聞社

「リージョナル特別賞」受賞

自動車用変速機専門メーカーであるジャトコ株式会社様の2021年度お取引先様表彰において、「リージョナル特別賞」を受賞しました。

スーパーバイザー派遣によるJMEX(ジャトコメキシコ)プロジェクト(新型CVT)立上げへの貢献が高く評価され、2019年度に引き続き、今回の受賞の運びとなりました。

今後ともお客様・お取引先様のご要望にお応えできる、製品の提供やサービス向上に努めていきます。



ステークホルダーとの相互信頼の関係深化



株主様向けあさひ工場見学会

9月2日、株主様向けあさひ工場見学会を開催し、午前の部と午後の部を合わせて約40名にご参加いただきました。

社長の挨拶とあさひ工場の概要説明の後、“環境にも人にも優しい”を目指してつくりあげたあさひ工場の製造フロア、営業フロア、カフェテリア等を間近でご覧いただきました。株主様からは、「感動した」といった声をいただくなど、大変好評でした。

質疑応答の時間には、株主様から、当社のSDGsやIT化の取り組み、社員が働きやすくなるための工夫についてなど、様々な質問が寄せられ、当社をより深く理解していただける有意義な時間となりました。

今後も、株主様に当社のことをより深く理解していただける機会の創出に努めていきます。



参加者アンケート コメント(一部抜粋)

- 大変素晴らしい工場であったと思います。本社とあさひ工場の物流効率化を含め、人財の育成を期待します。
- 若い社員さんが多いので、モチベーションを持って今後も頑張っていける会社であって欲しい。分かりやすい説明と案内で有意義な見学会でした。



TAKAMAZファミリーデー

8月20日、あさひ工場の完成を記念したファミリーデーをあさひ工場で開催し、社員とその家族268名が参加しました。

社長挨拶と会社近況報告ののち、社員が各自の家族を引率し、職場・工場案内を行いました。見学を通じて、安全・安心なモノづくりの現場や働き方の多様性を実現する様子をご覧いただき、家族に会社の魅力を知ってもらうことができたと思います。

明るく清潔なオレンジキッチン(カフェテリア)での昼食体験では、おいしく健康的なメニューやお子様向けのランチは家族にも大変喜んでいただいたとともに、豪華景品を用意した抽選会等もお楽しみいただきました。

当社は、今後も社員やその家族を大切に、働きやすい職場づくりに努めていきます。



NEW

XWG-3

カーボンニュートラルに貢献し、 新たな生産スタイルをご提案

近年ニーズが高まるカーボンニュートラル実現に向けて貢献する新機種「XWG-3」を開発しました。従来機では排熱として放出していた電気エネルギーを、装置の電源として再利用できる電源回生方式を採用しました。各種動作の高速化により生産効率を向上させつつ、装置の消費電力の削減が可能で、従来機より更に高い省エネ性能を実現します。

また、上下2画面のマルチ表示となっている19インチの大型タッチパネルを採用し、作業者の視認性・操作性を向上しました。



NEW

XTS-6

更に小型化、省エネを追求

「XTS-6」は、従来機「XT-6」から更なる小型化を追求し、業界クラス最小のフロアスペースを達成しました。また、低重心化がもたらす、より安定した加工精度によって、高い生産性の実現と作業者の負担軽減を可能にします。

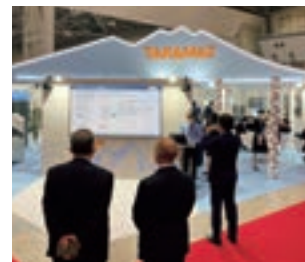
省エネ面ではアイドルストップ機能を搭載し、機械停止時は従来機より約20%の節電効果が得られます。更に、省エネルギーモード、ローダ速度最適化機能、電源回生方式の採用などによって、お客様の省エネニーズにお応えします。



JIMTOF2022に出展しました!

11月8日～13日の6日間、東京ビッグサイトで4年ぶりのリアル開催となる日本国際工作機械見本市「JIMTOF2022」が行われました。

当社も出展し、持続可能な社会の実現への挑戦として、①省人化、②カーボンニュートラル、③DXをキーワードに、人手不足解消に対するソリューション等を提案しました。小型かつ省エネながらも高生産効率を実現する新機種を含めた6機種は、お客様のニーズに合致するものであることから、ご好評をいただくことができました。



アンケートのご報告

単元株主様の第61期株主通信に同封しましたアンケートにおきましては、たくさんのご回答をいただき誠にありがとうございました。

皆様にお聞きした質問の中から、当社ホームページに関する質問のご回答をご報告させていただきます。

単元株主数

2,415名

アンケート回答数

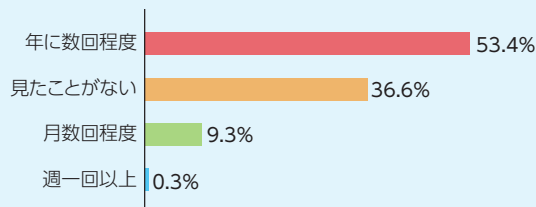
648名

アンケート返信率

26.8%

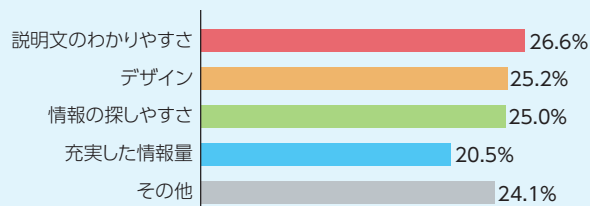
Q.

当社ホームページをご覧になる頻度はどの程度ですか？



Q.

当社ホームページの「サステナビリティ」ページを4月に公開しましたがページをご覧になっていかがですか？良いと思った点を教えてください。(複数回答可)



Q.

「サステナビリティ」ページをご覧になり、更に知りたいと思ったことをお書きください。(回答一部抜粋)

- 概念よりもEVや空調システムなどの具体例の記事の方が面白いので増やしてほしい。
- 実際に社員さんが取り組んでいる日常の様子を撮影した写真を見たい。
- 環境負荷低減の取り組みとして省エネ製品開発に力を入れているが、具体的な省エネ目標があれば詳しく知りたい。
- 人間・自然への優しさが伝わってくる。EVやIT系、画期的なものが今後出て来るはず。新しい情報が出ましたら公開してください。
- SDGsの取り組みによりどのような効果を得られたのか、具体的事例、データにより提示してほしい。
- サステナビリティを進めたことによる従業員の満足度。

ホームページ（サステナビリティページ）のご案内

当社ホームページ内のサステナビリティページでは、当社のサステナビリティ基本方針や取り組み事例をご紹介します。どうぞお気軽にアクセス、ご利用ください！



▼サステナビリティトップページ



今年度から新たにサステナビリティレポートを掲載しています。ぜひご覧ください！



当社ウェブサイト「サステナビリティページ」

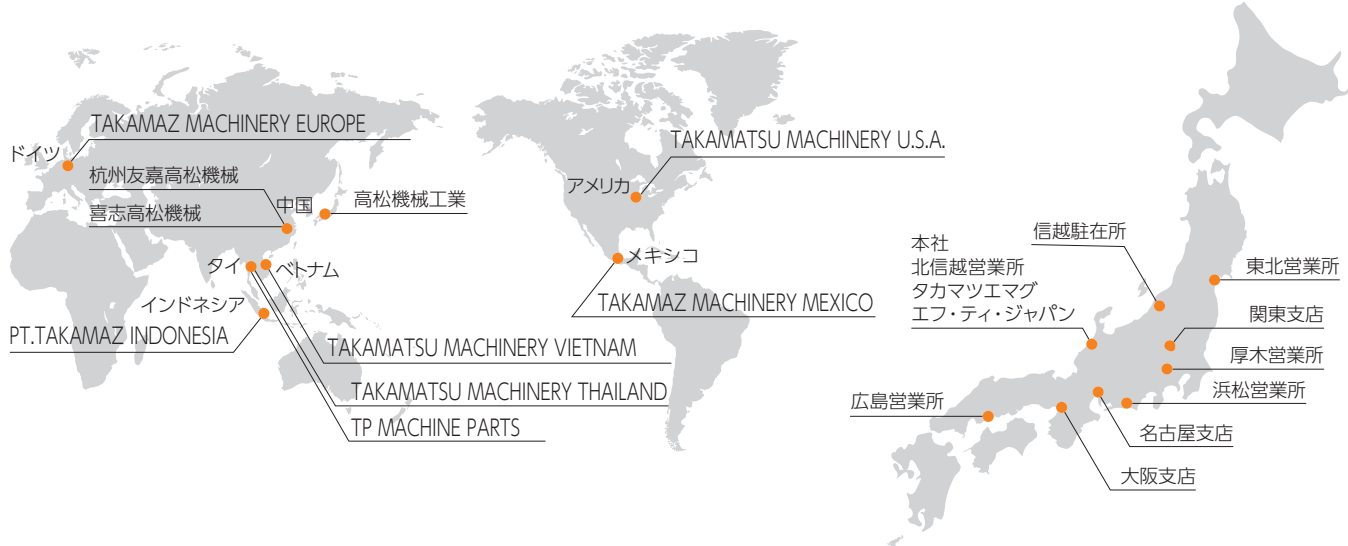
<https://www.takamaz.co.jp/sustainability/>

会社概要	
商 号	高松機械工業株式会社
英 文 商 号	TAKAMATSU MACHINERY CO., LTD.
設 立	1961年7月
資 本 金	18億3,539万円
本 社	石川県白山市旭丘1丁目8番地
従 業 員 数	541名
事 業 内 容	● CNC旋盤等の製造、販売およびサービス・メンテナンス ● 部品、コレットチャック等の製造、販売 ● IT関連製造装置の製造 ● 自動車部品の加工
ホームページアドレス	https://www.takamaz.co.jp

役 員			
代表取締役会長	高 松	喜 与 志	
代表取締役社長	高 松	宗 一 郎	
常 務 取 締 役	徳 野		穰
常 務 取 締 役	磯 部		稔
常 務 取 締 役	四 十 万		尚
取 締 役	村 田	俊 哉	
取締役（社外）	中 西	祐 一	
取締役（社外）	池 元	こ と み	
取締役（社外）	高 田	英 美	
常 勤 監 査 役	成 田	秀 信	
監査役（社外）	杖 村	修 司	
監査役（社外）	高 井	和 男	

執行役員			
上 席 執 行 役 員	唐 木	英 幹	
上 席 執 行 役 員	梅 田		勝
執 行 役 員	古 屋		孝
執 行 役 員	山 野		真

ネットワークとサービス体制



株式の状況

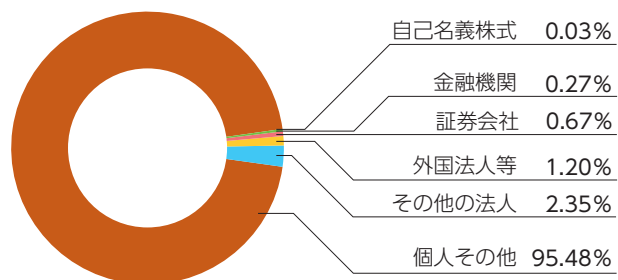
発行可能株式総数	30,000,000 株
発行済株式総数	11,020,000 株
1単元の株式数	100 株
株主数	2,985 名

大株主

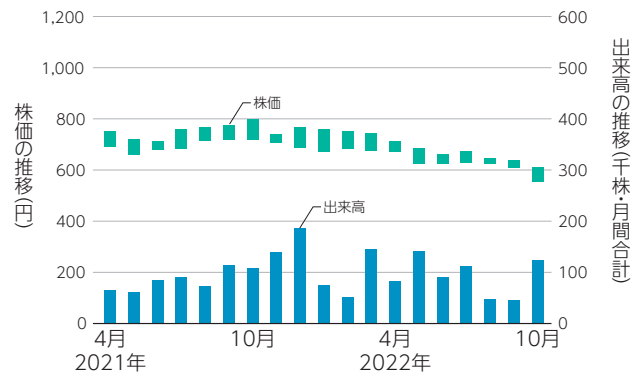
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
高松機械工業取引先持株会	1,035	9.56
株式会社タカマツ	810	7.48
北国総合リース株式会社	433	4.00
株式会社北国銀行	408	3.77
日本生命保険相互会社	384	3.55
株式会社朝日電機製作所	361	3.34
明治安田生命保険相互会社	360	3.32
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND	350	3.24
高松明毅	330	3.05
高松機械工業社員持株会	326	3.01

(注) 持株比率は自己株式(188,012株)を控除して計算しております。

所有者別株主数比率



株価・出来高の推移

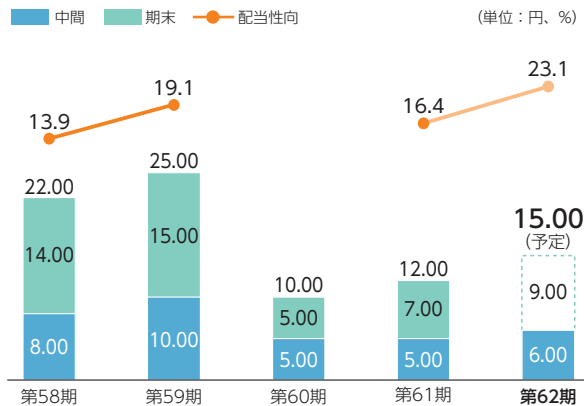


配当方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと位置付け、安定的な配当水準を維持していく方針です。

また、将来の利益の成長および企業価値の向上に資する事業投資に充当するため、必要な内部留保を行っていきます。当社の剰余金の配当は、中間配当および期末配当の年2回を基本的な方針としています。

1株当たり配当額



※第60期においては、親会社株主に帰属する当期純利益がマイナスのため配当性向を表示しておりません。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月中

株主確定基準日
(1) 定時株主総会 3月31日
(2) 期末配当金 3月31日
(3) 中間配当金 9月30日
(4) その他必要ある時 あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031
(インターネット
ホームページURL) 受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

公告の方法 当社ホームページに掲載
<https://www.takamaz.co.jp>

上場証券取引所 東京証券取引所スタンダード市場

お問い合わせ先 管理本部 企画経理部
TEL 076-274-1410 (直通)
FAX 076-274-1418

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

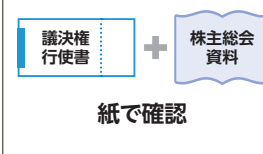
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会については、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

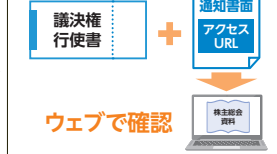
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

株主総会資料ウェブ化のお知らせ

今まで



これからは



主な変更点

- 当社ホームページへのアクセス方法等を記載した招集ご通知(以下、**通知書面**)をお送りします。
- 株主総会資料の全文は当社ホームページにアクセスすることで確認できます。

※議決権行使書は原則、今までどおりお送りします。

- 株主総会資料とは、株主総会参考書類、事業報告、監査報告、計算書類、連結計算書類を指します。
- 議決権を有する株主様を対象に通知書面をお送りします。
- 電子提供制度開始後も株主総会資料の一部を書面でお送りする場合があります。

開始時期 **2023年3月以降の株主総会より**

本制度について詳しくはこちら

<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/kaisyahou>



インターネットのご利用が困難で、
今までどおり株主総会資料の郵送をご希望される株主様へ

スケジュール

**2022年9月1日 … 株主様にて書面交付請求
～2023年3月末日**

**2023年6月上旬 … 株主様へ株主総会資料を
書面でお届け**

書面交付請求に関するお問い合わせ先

三井住友信託銀行 証券代行部

0120-533-600

受付時間 9:00~17:00
(土・日・祝日を除く)

ぜひQ&Aもご覧ください。

<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency>



ご注意

一連のお手続きには費用がかかる場合があります。
なお、書面交付請求は一定期間経過後に失効することがあります。